



令和4年,6月末発行

えるるは、市民活動団体を応援しています。月刊えるるでは、市民活動を活性化するために役立つ様々な情報を発信していきます。

こ れ か ら の 季 節
食中毒と熱中症にご**注意**ください！

食中毒予防の3原則

つけない



増やさない



やっつける



熱中症の予防法



日傘・帽子
の利用



こまめな
水分・塩分補給



日陰の利用・休憩

熱中症の症状がある時は、涼しい服装で休憩を。

イベントレポート「風薫る！えるる食堂」

令和4年5月28日（土）11:15～13:15

開催場所：えるる3階

参加者：47名（大人24名・子ども14名・ボランティア4名・職員5名）

今年度1回目の「風薫る！えるる食堂」を開催しました。「えるる食堂」とは大人でも子どもでも、地域の方が誰でも参加でき、安価、もしくは無料で一緒に食事をする機会です。



今回のメニュー
ハヤシライス
パスタサラダ
白玉あんみつ



今回も、たこ萬さん、フードバンク大牟田さんから食材の提供を頂きました。またえるる菜園で栽培した玉ねぎをハヤシライスに使用しました。暑い日も続いていたので、デザートにはアイスクリームを加えた白玉あんみつが喜ばれました。感染症対策で二部制の予約制でしたが、開催数日前には沢山の予約を受けることができ、賑やかな開催となりました。現在は新規の参加者が少ない状況です。もっと多くの方々に知っていただけるよう今後は近くの小学校などにも「えるる食堂」のアピールをしていきたいと思っています。

次回のえるる食堂は、3年ぶりに開催予定の大蛇山祭りをイメージしたメニューを考えています。令和4年7月30日（土）11:15より開催します。皆様のご参加お待ちしております。

今月のおススメ本 『一日一生』

酒井 雄哉 著



天台宗大阿闍梨 酒井雄哉師(1926-2013)の朝日新聞インタビュー記事の新書版です。

読んでいて、師の言葉に励まされ、肩の力がぬけて、ほんわかと幸せ気分になる本でした。師の言葉はわかりやすく、心にすっと入ります。語り口がきさくでやさしいです。

表紙より『「大丈夫、明日はまた、新しい人生が生まれてくるから」「あせらず、あわてず、あきらめず、無理をしない」「仏さんには、なんもかんもお見通しかもしれないよ」

現代の“生き仏”と称される酒井雄哉・大阿闍梨の慈雨の言葉。なぜ生きるのか。どう生きるべきか。苦しみや死をどう受け止めたら良いのか。人生に迷い悩むすべての人に。』

紹介者の私の心に響いた師の言葉です。

「一日が一生、だな。今日失敗したからって、へなへなすることない、落ち込むこともない、明日はまた新しい人生が生まれてくるじゃない。それには、今日を大切にしなかったら、明日はありませんよってということでもある。今が一番大切だったことだよ。今、自分がやっていることを一生懸命、忠実にやるのが一番いいんじゃないのかな。」

「子供にとっては、貧乏でもお金持ちでもいいんだよ。親が一生懸命生きている、その背中をみせてやることじゃないかな。」



月刊えるるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ



「よろずボランティア いちたすいち」さん (旧名称さんふぁみさんた)

大牟田社協さんに「友愛活動ボランティア さんふぁみさんた」として登録されています。今までとこれからの活動の事をお聞きしました。

～団体のなりたち～

2002年(平成14年)よりサンタクロースに扮して、ささやかではありますがプレゼントを持参させて頂き、ハンドベルや楽器演奏・即興似顔絵等を行い、介護をされているご家族や高齢者世帯の皆様に喜んで頂こうという思いで「さんふぁみさんた」と称して訪問活動を始めました。

～活動について～

初めの頃は訪問しても終始お念仏を唱えられたり、訪問をご利用様が忘れられたりして極寒の中、自宅に入れてもらえない事も多かったが、近年はサンタクロースが来るとの事で子どもさんやお孫さんも集まって来られる事も多く、3世代交流のきっかけができていますとお喜びしております。

活動の様子



～近年の活動～

平成28年度より熊本地震で被災された方の仮設住宅へ定期訪問させて頂いております。

(平成29年は朝倉の仮設住宅や災害ボランティア参加) “さんふぁみ大蛇”を持って行き、“かませ”をさせて頂いたりしています。また元自治会長の方から「雲外蒼天」“努力して困難を乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている”という意味を教えて頂き、その中で「これまで施して頂いていたがこれからは施す側になりたい」と我々の訪問時手作りカレーで迎えて頂いております。

また令和元年より大牟田里親会クリスマス会にも参加して子ども達との交流も始めております。令和3年12月には「えるる祭り」に参加(令和2年度WEB参加)しました。介護相談傾聴ブースでは、今の介護に対するお気持ちを伺いました。ステージでは介護施設入所者様のピアノ演奏や三線演奏をして会場の皆さまに喜んで頂きました。

～今後について～

感染症の状況にもよりますが、以前のように、積極的に在宅訪問を実施していきたいと思っています。これまでも益城町手芸グループの物品販売の協力や大牟田豪雨災害支援隊を結成したりしました。今年が結成20周年の年、サンタクロースの訪問活動に限らず、幅広い活動ができるように、令和4年5月より「よろずボランティア いちたすいち」と名称を変更し、多方面のボランティア活動に対応していきたいと思っております。皆さまよろしくお願いたします。



連絡先：

よろずボランティア

いちたすいち

ICHI TASHU ICHI

(介護老人保健施設サンファミリー内) 坂田 田島
電話：0944-58-7722 FAX：0944-58-7742

S U N M O N T U E W E D T H U F R I S A T

2	※大牟田市主催・社協主催△えるる主催 ○市民活動・ボランティア団体主催 つどいの広場のイベントは開催予定となっております。 詳しくはつどいの広場（52-5656）にご確認ください。			30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
○ペット 防災学習会	休館日					
10	11	12	13	14	15	16
		※人権 何でも相談				△ボランティア 入門講座
17	18	海の日	19	20	21	22
24	25	26	27	28	29	30
	○認知症カフェ 連絡協議会 ノルディック ウォークかふえ			※行政相談		△えるる食堂
31	1	2	3	4	5	6
※幼児期 子育て講座						

休館日(毎月第1月曜日)
7月4日(月)・8月1日(月)



○施設のご利用について○

※団体のイベントは中止・延期になる場合があります。開催の有無は主催者にご確認ください。また開催される場合は福岡県のHP、催物（イベント等）を開催する際の感染防止対策チェックリスト等をご覧いただき、主催者・参加者ともできる限りの対策をお願いいたします。

※駐車台数には限りがあります。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。
※講座開催時等に写真を撮影させていただきます。目的の範囲内でのみ利用し、個人情報保護に関する法令等に基づき管理いたします。なお、個人を識別できない統計データについては、当施設において何ら制限なく利用できるものとします。ご了承ください。

【発行】大牟田市市民活動等多目的交流施設
(指定管理者 NPO法人ワークスコープ)

【住所】大牟田市新栄町6番地1

【TEL】0944-52-5285 【FAX】0944-43-1214

【E-mail】eruru@roukyou.gr.jp

【H P】<https://www.omuta-eruru.com/>

【メルマガ登録はQRコードより】

